

## 楽しみながら環境行動をはじめよう

家庭・地域・職場

### ねらい・目的



様々な地球環境問題を解決していくには、一人一人が環境に配慮した生活を送ることが求められており、子どもの頃からの習慣化が重要となります。

将来を担う子どもたちが、楽しい遊びを通じて、様々な環境にやさしい行動を体験することで、当たり前のこととしてエコライフを実践していくきっかけを作ること

をねらいとします。

### 取り組みの背景として



地球温暖化をはじめとした地球環境問題が深刻化しています。いま、市民一人一人に省エネ・省資源型ライフスタイルへの転換が求められています。

しかし

一度当たり前の生活として定着してしまったライフスタイルを変えていくことは、大変な努力が必要です。

そこで

個々のライフスタイルが確立しはじめる幼児期に環境にやさしい行動を習慣化することが重要となります。

### 取り組み項目(実施方法)



#### 取り組みのキーワード

楽しみながら環境行動や学習ができる。

社会で生活していくために大切な「マナー」も身に付けることができる。

自然に親しみ自分を取り巻く環境を理解し、大切さを実感する。

身近な日常生活の中で環境へ関心を向ける取り組みを行うことで、行動として定着する。

## 取り組み1

## 幼稚園・保育園・児童会館などでやってみよう！＜屋外編＞

### ①自然体験

- ・近所の公園や防風林などで、木や草花、鳥や虫を調べましょう。
- ・自然の中で言葉を使わず自分の感じたことをお互いに伝え合う「サイレントウォーク」、落ち葉に全身をうずめて、目だけを出して森を見上げてみる「大地の窓」などのネイチャーゲーム（参考資料等の欄参照）で遊んでみましょう。
- ・「ネイチャーゲームの本」は、札幌エルプラザの情報センターでも借りられますので、ご利用ください。

<http://www.danjyo.sl-plaza.jp/jyouhou/index.html>

### ②自然物を利用した遊び

- ・葉っぱや木の実を拾いに行き、壁飾りや、おもちゃ作りをしてみましょう。
- ・冬には雪を使って雪だるま作りや遊びなどで冬にしかできない遊びをしましょう。

### ③公園でのごみ拾い

- ・散歩の時、又は学校や町内会と協力し地域の公園などのごみ拾いをしてみましょう。軍手とごみ袋を用意して出掛けましょう。

### ④マイタウン・マイフラワープラン事業への参加

- ・札幌市が進める「マイタウン・マイフラワープラン」に参加し、園内に花を植えましょう。
  - ・年1回、春に申込みを受け付けています（下記へお問い合わせください）。
  - ・花の種と苗ポットは札幌市から提供されます。土と肥料は個々に準備しましょう。
- お問い合わせ先：札幌市環境局みどりの推進部みどりの推進課（電話：011-211-2522）

### ⑤みどりを育てる

- ・お花や野菜の栽培など、簡単にできるものから始めてみましょう。

### ⑥環境学習ができる施設見学

- ・「豊平川さけ科学館」「下水道科学館」など、札幌市の環境関連施設を見学してみましょう。
- 【参考施設1】札幌市豊平川さけ科学館（サケのふ化放流や豊平川の淡水魚について学べます）  
札幌市南区真駒内公園 2-1（電話：011-582-7555） <http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>

【参考施設2】札幌市下水道科学館（下水道のしくみや役割などを学べます）

札幌市北区麻布町8丁目（電話：011-717-0046）

<http://www.city.sapporo.jp/gesui/05kagakukan/0501kagakukan.html>

### ⑦ホタルの飼育

市内には、夏の風物詩であるホタルの鑑賞会が行われている地区があります。

（参考）清田区役所でホタルの鑑賞会が開かれています。

<http://www.city.sapporo.jp/kiyota/top/info/hotaru/>

■問い合わせ先：清田区市民部地域振興課（電話：011-889-2400 内線 253）

## 取り組み2 幼稚園・保育園・児童会館などでやってみよう！＜屋内編＞

### ①牛乳パックリサイクル

- ・園内で飲んだ牛乳などの紙パックをまとめて、近所の回収拠点へ持って行きリサイクル活動に参加しましょう。
- ・「牛乳パックを使った和紙作り」のリサイクル体験もしてみましょう。



### ②紙の再利用

- ・新品の紙ではなく、片面印刷のチラシや、使用済みコピーの裏紙などを利用して、折り紙遊びや、お絵かきを楽しみましょう。
- ・ごみ減量のために、使い終わった折り紙は平らにして段ボールなどで回収しましょう。

### ③絵本や紙芝居での学習

- ・身近な自然について学べる絵本や、紙芝居を活用してみましょう。  
札幌エルプラザの情報センターでは、環境に関する本が借りられます。
- ・市内の図書館では、「紙芝居（自然に関するもの等）」の貸し出しも行っています。  
■札幌エルプラザ 情報センター（電話：011-728-1223）  
<http://www.danjyo.sl-plaza.jp/jyouhou/index.html>

### ④廃品での遊具作り

- ・不要になった木材や空箱などを使って、おもちゃ作りをしてみましょう。

### ⑤保護者への呼びかけ

- ・子どもの活動を親にも伝え、興味を持ってもらいましょう。
- ・家庭で、簡単なおみの分別と節電・節水などのエコライフを、子どもと一緒に実践してもらいましょう。
- ・古紙、アルミ缶、牛乳パックなどの地域の回収に協力してもらいましょう。
- ・市民グループ主催の学習会などへ講師を派遣してくれる「環境保全アドバイザー制度」や、自然体験学習会等に講師を派遣してくれる「環境教育リーダー制度」などを活用してみましょう。

#### ■環境保全アドバイザー制度

<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/sapenvweb/show/plaza/jinzai/adviser.htm>

(札幌市環境プラザ)

#### ■環境教育リーダー制度

<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/sapenvweb/show/plaza/jinzai/leader.htm>

(札幌市環境プラザ)

様々な活動を継続していくことで、子どもの環境に対する意識が高まります。

## 【地域における取り組み事例】

## 取り組み事例

**札幌市立もいわ幼稚園**：「自然が大好き」～遊びの中で身近な自然を感じて  
南区硬石山のふもとにある「もいわ幼稚園」は周辺の自然とふれあう活動に力を入れています。  
(電話：011-571-5850)

皆で作った池が  
ビオトープになったよ！

オタマジャクシがカエルになり、それを池に放したり、小鳥が水を飲みに来たりする池をみんなで作りました。ある日、池にカモの親子がやって来ました。今は、オタマジャクシが住み、まわりを囲む木々と共にビオトープとなりました。

親子で花や野菜を育てて  
命の大切さを感じたよ！

みんなで水をあげて、大切に育てました。できた種や茎でリースや壁飾りを作りました。大豆を育てて豆腐作りや、ミニトマトでの染め物遊びなどをしました。今年育てたイチゴは、ツルがのびて、次の命になることを体験しました。

## 取り組み事例

**札幌市あいの里ひがし児童会館（ちょボラクラブ）**：割り箸リサイクルをして木を守ろう  
(電話：011-778-2358)

「使用済み割り箸」  
のリサイクル

- ・洗って乾燥させた「割り箸」を回収することで森林資源を守ることができると知ったのがきっかけで始めました。
- ・2002年(平成14年)から約6年間で、約108万本集めました。  
(箱ティッシュで、3,240箱分のリサイクル)
- ・こどもエコクラブの活動として取り組んでいます。

## 取り組み事例

**札幌市中の島児童会館**：地域の子どもと大人と一緒に環境活動を体験して、自分たちのまちづくりに取り組んでいます。(電話：011-811-5215)

ごみゼロ大作戦

「私たちの街：私たちがきれいに」をテーマとして、児童会館横の「かわら公園」の清掃活動を、中の島中学校の協力を得て、一緒に取り組みました。

児童会館裏庭の畑作り

ミニトマトの苗植えや栽培を、老人福祉センターの方と行いました。

地域にある精進川  
ふれあい事業へ参画

- ①ヤマベの放流(中の島魅力づくりの会・青少年育成委員会主催)
- ②ホタルの幼虫の飼育
- ③河畔林の植樹  
(現在、公園内のどんぐり、クルミから苗を作っています。)

## 取り組み効果



### 効果 1 環境意識が高まり定着する

子どもが自然に触れたり、環境のことを考えたりする機会を増やし、継続していくことで、子どもも含め家庭内や地域でも環境意識が高まり、環境行動が定着します。

### 効果 2 大人と子どもが、相互に学びあえる

子どもが自然に触れ、環境について考えることで大人にも発見があり、子どもと共通の体験をする機会も増え、大人と子どもが互いに学びあえます。

## 他のプログラムとのつながり



### ■省エネ大作戦（家庭・地域・職場編）

家庭でのエネルギーの使い方を振り返り、簡単にできる省エネに取り組む。

### ■「ごみ」と「資源」の再発見（家庭・地域・職場編）

地域ぐるみで集団資源回収などのごみ減量に取り組み、行動を定着させる。

### ■みどりを身近に感じよう（家庭・地域・職場編）

もっと自然にふれ合う機会を持ち、みどりを身近に感じてもらう。

## 参考資料等



### 1 【ネイチャーゲーム】

- ① ネイチャーゲームの本「小学校の授業に生きるネイチャーゲーム」スタート編  
出版:ネイチャーゲーム研究所



<本の内容例>

第3章 ネイチャーゲームアクティビティ  
動物交差点／ノーズ／ジャンケン落ち葉集め／  
同じものを見つけよう／フィールドビンゴ／カモフラージュ／  
マイクロハイク／森の美術館／サウンドマップ／  
目かくしイモ虫／大地の窓／サイレントウォーク

- ② 社団法人 日本ネイチャーゲーム協会 ホームページ

<http://www.naturegame.or.jp/>

ゲームの内容やネイチャーゲームのリーダー養成講座等が紹介されています。

## 2 【牛乳パックを使った和紙づくり】

<必要なもの>

牛乳パック、ミキサー、紙すき枠、アイロン

<手順>

あらかじめ「牛乳パック」を水にひたしておきます。

①水にひたしておいた「牛乳パック」の薄いビニールをはがします。

②薄いビニールをはがした「牛乳パック」を小さくちぎり、ミキサーにかけます。

③ミキサーに30秒間かけると、ふわふわとした「白いパルプ」ができあがります。

④できた「白いパルプ」の中に、そうっと“すき枠”を入れ、枠の角まで平らにパルプを流し引きあげます。

⑤最後に、アイロンで乾かせばできあがりです。